

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

オーストラリア株式はじっくり、ゆっくり長期投資が基本

ー設定から5年を振り返って考えたことー

2017年3月31日

お伝えしたいポイント

- ・ オーストラリア企業の業績はコモディティ関連だけでなく、全般的に改善を示している
- ・ 継続的な配当も長期リターンの源泉
- ・ オーストラリア株式投資は、長期的な人口増加やアジアに近い地理的利点など長期投資の優位性を備える

当ファンドは5周年を迎えました

当ファンドは2017年3月22日で設定より5年を迎えました。2017年3月22日の基準価額は11,698円、設定来の分配金合計額は5,350円、分配金再投資後の設定来騰落率は77.4%となっています。これまで5年間、当ファンドを支えてくださった投資家の皆さまに心より感謝申し上げます。今回は設定から5年の節目に、これまでの運用経過を俯瞰(ふかん)しつつ、今後のオーストラリア株式投資について考えてみたいと思います。

当ファンドは、2017年3月21日に第10期決算期を迎え、当期の収益分配金は、設定来で二番目に大きい1,230円とさせていただきます。2017年3月22日の分配金再投資基準価額は17,736円と2015年3月につけた設定来高値に迫る勢いです。2015年半ばから2016年半ばにかけては、コモディティ価格の下落や円高豪ドル安を受けて厳しい状況でしたが、2016年後半からは、コモディティ価格の回復や好調な企業業績、円安豪ドル高などを背景に基準価額は回復基調となっています。

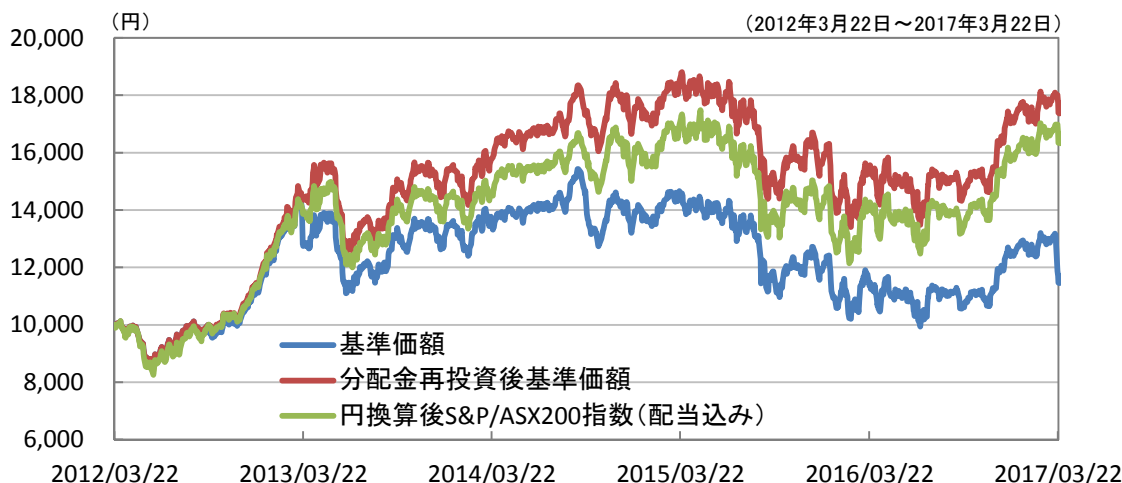
このように大きな分配金、設定来高値近辺の分配金再投資基準価額と聞くと、「割高なのでは?」と思われる方も多と思います。そこでまずは現在の株価バリュエーションについて確認してみたいと思います。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金を支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

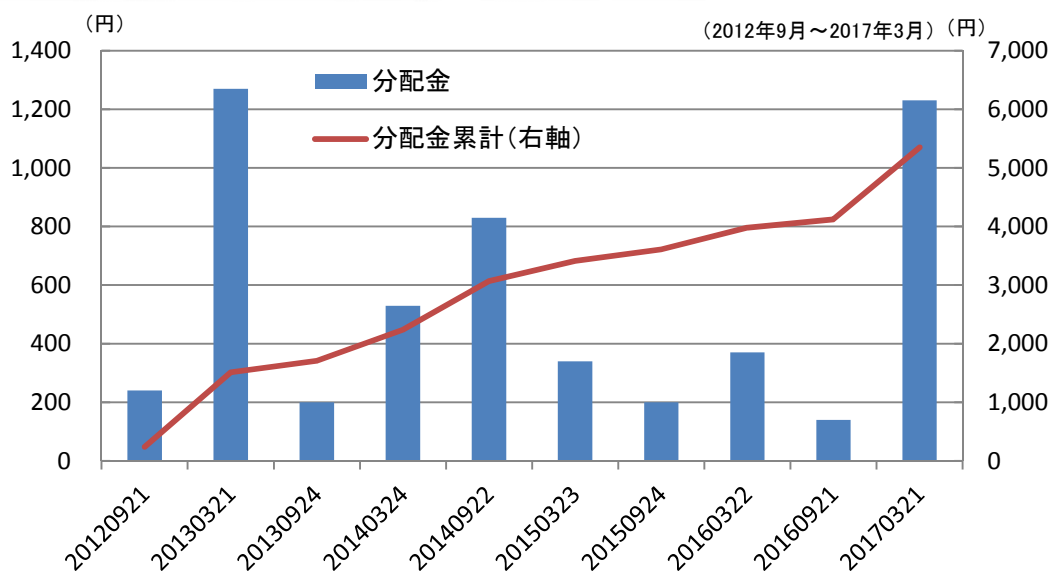
図1: 設定来の基準価額・株価指数推移



※円換算後S&P/ASX200指数(配当込み)は、S&P/ASX200指数(配当込み)をもとに、大和投資信託が計算したものです。
 ※円換算後S&P/ASX200指数(配当込み)の数値は、2012年3月22日時点をもとに10,000として指数化したものです。
 ※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所:ブルームバーグ)

図2: 設定来の分配金推移

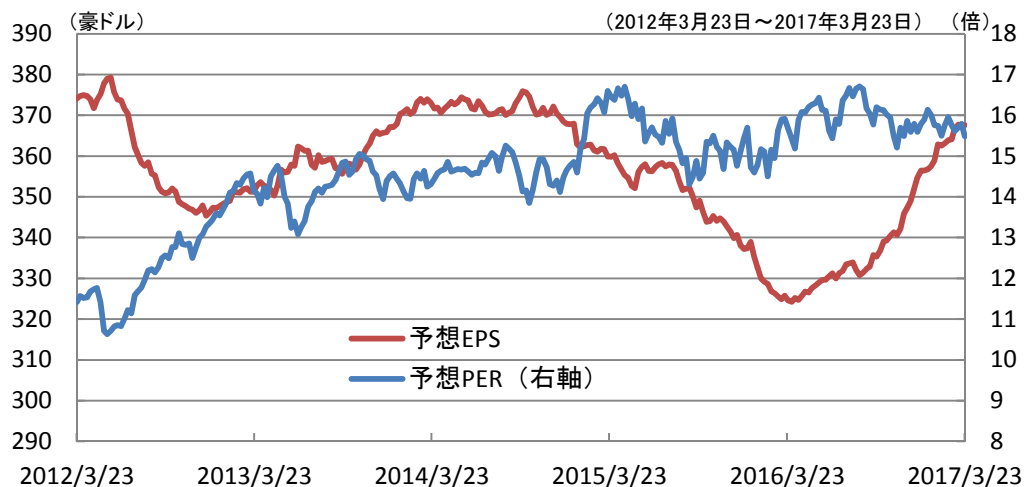


※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。
 あらかじめ一定の額のお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

現在の株価水準は割高か？

図3は、オーストラリアの代表的な株価指数の予想PER(株価収益率)と予想EPS(一株当たり利益)の推移を示したものです。22日現在の予想PERは15.5倍程度で、過去2年程度のスパンで見ると割高な水準ではありません。株価は高値近辺にも関わらず、株価バリュエーションに過熱感が見られないのは、業績が改善傾向にあるためです。予想EPSの推移を見ても分かるように、2016年前半をボトムに上昇に転じています。予想EPS上昇の最大の要因は、コモディティ価格の上昇による鉱山関連企業の業績回復ですが、それ以外の金融、生活必需品、ヘルスケア、公益といった幅広いセクターで予想EPSは改善傾向です。このように業績改善というファンダメンタルに裏打ちされた現在の株価は、決して割高な水準とはいえないと考えます。

図3: S&P/ASX200指数の予想EPS・予想PER推移

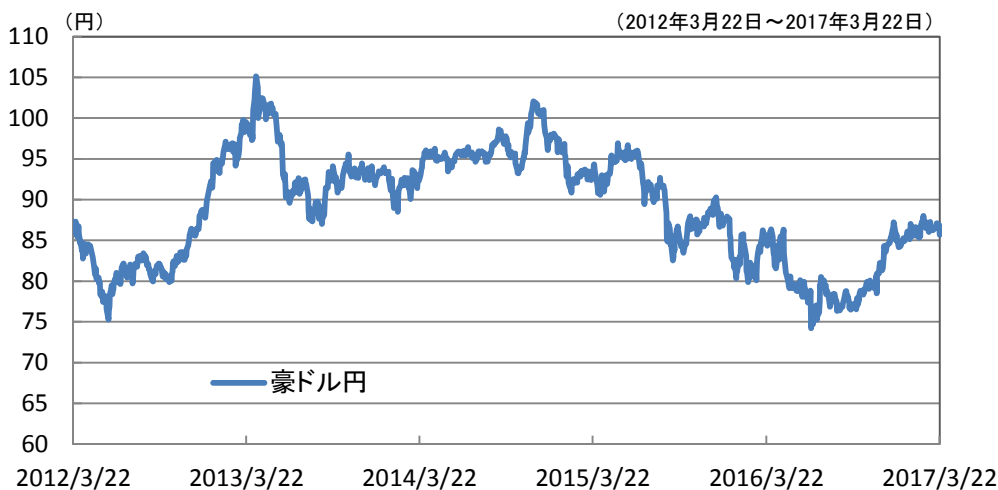


(出所:ブルームバーグ)

為替リスクには時間分散で

続いて豪ドルの推移について確認したいと思います。興味深いことに、2017年3月22日時点の豪ドル円は85.7円と、設定日(2012年3月22日)の豪ドル円87.3円とほぼ同水準となりました。この5年の間には、豪ドルは対円で100円を超えることもあった一方で、80円を下回ることもありました。しかしながら、長期で見ると一方的なトレンドは形成されず、おおむねレンジ内での推移となりました。このことから、為替リスクに関しては、長期投資による時間分散が有効と考えます。

図4: 豪ドル円推移



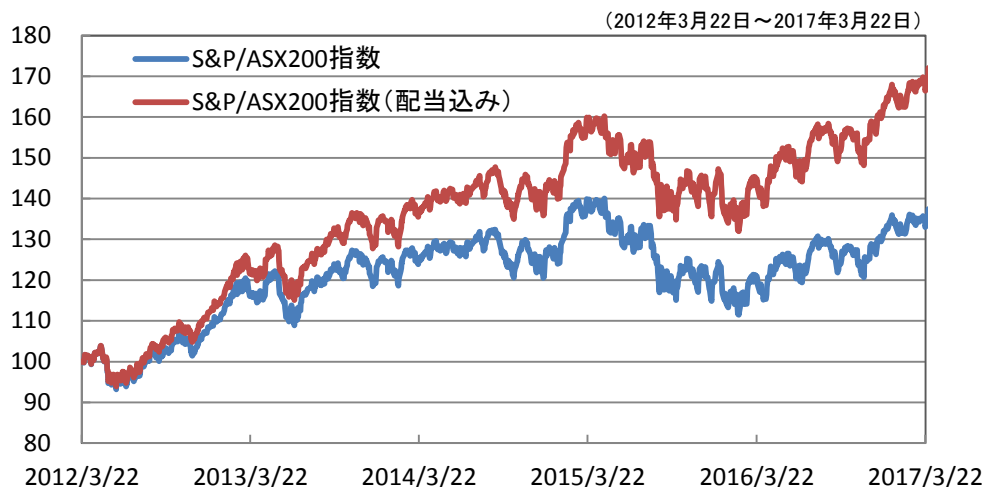
(出所:ブルームバーグ)

継続的な配当による大きな効果もリターンの源泉

図5は、オーストラリアの代表的な株価指数の配当金再投資後の推移です。通常、ご覧になっているのは配当金が含まれていない指数のグラフが多いと思います。ここ数年の配当が含まれていない指数は正直に言ってさえない推移だと思います。特に2014年以降は、ほぼ平行線で、リスクをとってまで株式に投資する意味があるのか、と言いたくなります。ところが配当金再投資指数になると大きく変わり、明確な上昇トレンドが生まれます。ここが、オーストラリア株式投資の大きな魅力だと思います。配当水準が相対的に高いため、継続的な配当の効果により、5年のスパンで見ると大きな違いが生まれます。1年では大きな違いはありませんが、根気よく積み上げることでその差が大きくなります。この点からもオーストラリア株式は長期投資が有効と考えます。

またオーストラリア国内投資家は配当を重視する姿勢が強く、企業もその期待に応えることを重要な目標としています。当ファンドでは今後も、配当を中心に株主還元を重視する企業に注目していきたいと考えています。

図5: オーストラリア株価指数(S&P/ASX200)推移



※2012年3月22日時点をもととして、指数化しています。

(出所:ブルームバーグ)

オーストラリア株式は長期投資が効果的

オーストラリア株式投資は、株式市場・豪ドルともにコモディティ価格の影響から変動が激しいため、長期投資には不向きと思われがちです。しかしながら実際は、継続的な配当の積み上げや、為替リスクにおける時間分散などから長期投資が効果的だと考えます。また長期的な人口増加や高い所得水準、アジアに近い地理的利点などの経済環境も長期投資をサポートします。オーストラリア株式投資にはぜひじっくり長期の視点で取り組んでいただけたらと思います。

最後にもう一度、これまで5年間当ファンドを支えてくださった投資家の皆さまに感謝を申し上げたいと思います。ファンド運用にとっては、投資家の信任が全てです。それなくしてファンド運用は成り立ちません。その信任に応えられるよう、これからもファンドマネージャーとして全力を尽くす所存です。今後とも当ファンドの発展にご協力をごを何とぞよろしくお願い致します。

以上

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- オーストラリアの株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. オーストラリアの株式等の中から、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資します。
 - ・株式等にはリート（不動産投資信託）を含みます。

予想配当利回り（%）＝（1株あたり予想年間配当金÷株価）×100

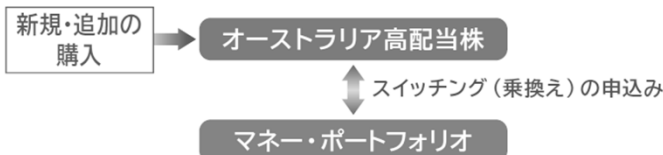
※予想配当利回りについては、原則として情報提供会社のデータを用いて計算します。

※予想と異なり、配当金額が減額される場合があります。

2. <オーストラリア高配当株>は、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」です。

スイッチング（乗換え）について

- <オーストラリア高配当株>と<マネー・ポートフォリオ>との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。
- <マネー・ポートフォリオ>の購入は、スイッチング（乗換え）による場合のみとなります。



◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド : オーストラリア高配当株
 ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ : マネー・ポートフォリオ

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、リートの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---------------------|--|---|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。 | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 「オーストラリア高配当株」 年率 1.62% (税抜 1.50%) 「マネー・ポートフォリオ」 各月ごとに決定するものとし、各月の1日から各月の翌月の1日の前日までの当該率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.54(税抜0.5)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年率0.972%(税抜0.90%)を超える場合には、年率0.972%(税抜0.90%)とします。 | 運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。 |
| その他の費用・手数料 | (注) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 円建ての債券に投資し、安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 円建ての債券を中心に投資します。
 - 投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
 2. <マネー・ポートフォリオ>は、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

前頁に記載していますのでご確認ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会